

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成17年10月20日(2005.10.20)

【公開番号】特開2004-156282(P2004-156282A)

【公開日】平成16年6月3日(2004.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2004-021

【出願番号】特願2002-322402(P2002-322402)

【国際特許分類第7版】

E 0 3 D 11/02

【F I】

E 0 3 D 11/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月22日(2005.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ボウル洗浄を行なうボウル吐水口と、サイホンを起動させボウル内の水をブローで排出させるゼット吐水口と、を備えた水洗便器において、

前記ゼット吐水口を構成するゼットノズルは陶器以外の材質で構成され、かつ前記ゼット吐水口位置が便器溜水の最下部になるように前記ゼットノズルの一部にトラップ底面に倣って延長した延設部を設け、この延設部により前記ゼット吐水口より下の死水領域をなくすことを特徴とする水洗便器。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の水洗便器はボウル洗浄を行なうボウル吐水口とサイホンを起動させボウル内の水をブローで排出させるゼット吐水口とを備え、前記ゼット吐水口を構成するゼットノズルは陶器以外の材質で構成され、かつ前記ゼット吐水口位置が、便器溜水の最下部になるように前記ゼットノズルの一部にトラップ底面に倣って延長した延設部を設け、この延設部により前記ゼット吐水口より下の死水領域をなくすことを特徴とする。

ゼット吐水口の位置が便器溜水の最下部になるように前記ゼットノズルの一部にトラップ底面に倣って延長した延設部を設けたので、延設部によりゼット吐水口とトラップ底面との間で形成されるゼット吐水の死水領域がなくなり、サイホン直後に残った残水がすべてゼット吐水口に集まり、ゼット吐水を継続することにより、汚水や浮遊汚物を確実に排出することが可能になる。